

各 位

会社名 ダイソーエムイー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 川口 三夫
 (JASDAQ・コード 9923)
 問合せ先 取締役執行役員管理業務本部長
 桜井 義隆
 電 話 052-761-7177

平成 17 年 4 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成 17 年 4 月期（平成 16 年 5 月 1 日～平成 17 年 4 月 30 日）の業績予想について、平成 16 年 12 月 28 日付当社「平成 17 年 4 月期中間決算短信（連結）」および同日付当社「平成 17 年 4 月期中間個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 4 月期連結業績予想数値の修正等

(1) 平成 17 年 4 月期連結業績予想数値の修正（平成 16 年 5 月 1 日～平成 17 年 4 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,400 百万円	160 百万円	130 百万円
今回修正予想（B）	8,300 百万円	201 百万円	175 百万円
増減額（B - A）	100 百万円	41 百万円	45 百万円
増減率	1.2%	25.6%	34.6%
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 4 月期）	7,305 百万円	210 百万円	216 百万円

(2) 修正理由

平成 17 年 12 月 28 日中間決算短信発表以後、緩やかながら続いた景気の回復につれ当社の重要顧客を含む自動車産業も好調な業績を継続し設備投資も増加してまいりました。

当社におきましては、売上比率の高い商品の売上高が、熾烈な価格競争と仕入価格の高騰をうけ前年同期に比べ 4.5%増加したものの予想売上高を 1.2%下回る結果となりました。

一方、製品の売上高につきましては、好調な設備投資の影響と技術提案営業の強化により前年同期に比べ 37.7%増加し、予想売上高の減少を微小な範囲に留める要因となりました。

また、生産効率のアップと原材料費の圧縮により利益率の高い製品の売上の増加と、連結対象子会社の利益率の向上により、当期の利益予想を上回る結果となりました。

2. 平成 17 年 4 月期単独業績予想数値の修正等

(1) 平成 17 年 4 月期単独業績予想数値の修正（平成 16 年 5 月 1 日～平成 17 年 4 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,100 百万円	130 百万円	110 百万円
今回修正予想（B）	7,986 百万円	151 百万円	158 百万円
増減額（B - A）	114 百万円	21 百万円	48 百万円
増減率	1.4%	16.1%	43.6%
（ご参考） 前期実績（平成 16 年 4 月期）	7,187 百万円	200 百万円	212 百万円

(2) 修正理由

連結・単独ともに事業内容が同一であり、修正理由、修正額は連結業績と同じ内容であります。

3. 平成 17 年 4 月期配当予想につきましては修正はありません。

（注） 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上